



JAMCA ニュース

No.69

2011年4月1日

発行
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

編集事務局

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

国家 1 級整備士の未来に向けて

全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事
トヨタ東京自動車大学校 校長

杉山 泰成

電子制御・新技術車両の増加

販売が低迷しているなか、お客様の関心が環境と安全を重視した車に集まっており、それに伴って、電子制御や新技術を満載した車が増加している。

HV は 2010 年登録乗用車の 16.4%にも達し、将来的にも EV、PHV 等、次世代環境車の販売の増加が見込まれている。安全関連では、ESC（横滑り防止装置）の装着の義務化が昨年末に決定され、アクティブ・クルーズ・コントロール（車間距離制御システム）も話題になっている。

今後、先進技術搭載車両の増加に伴う不具合の増加も予想され、各種診断機器等のツール面での対応と、先進技術を理解・整備し、お客様に整備内容をわかりやすく説明出来る国家 1 級整備士を増加させるという人材面からの必要性が、いよいよ高まっていくであろう。

1 級コースの増加と課題

昨年入学した整備専門学校生は、8437 人と前年比 3.0%減少したにも拘わらず、JAMCA 会員校で 1 級整備士を目指す学生は 1092 人へと 8.3%増加している（JAMCA 調べ）。

就職についても、1 級コース卒業生は評判もよく、2 級コース生よりも早く内定を得ている。就職後も、整備技術だけでなく人間性の観点からも、押しなべて評価が高い。会社によっては、「1 級コース卒業生を



重点的に採用したい」「将来は工場長や店長等の幹部候補として育成したい」という話しも聞き及んでいる。

しかし、課題もいろいろある。

大学進学率が 50%を超える状況下、1 級整備士にふさわしい学生を確保することは並大抵でない。加えて、学業レベルは適切でも車に関心が薄く理解が進まない学生も増えていると聞く。

国家 1 級整備士資格試験の全国合格率は、試験開始以来常に 5 割以下。JAMCA 校だけ見ても昨年度は 8 割以下に低下。4 年間、学科・実習でしっかり学んだにも拘わらず、不合格となれば、「1 級資格を持たない 1 級コース卒業生」となり、周りの目が大変厳しいものとなるのは容易に想像がつく。

登録試験は年 1 回きりであり、次回合格するには、新入社員として緊張の連続の仕事を終えてから受験勉強をし、1 年後の試験を待たなければならぬ。

就職時の給与も、会社側に 1 級にふさわしい初任給が未設定であったり、身につけた知識・技術を活用できる仕事がありませんと評価が低い。仕事の意欲を低下させているケースもある

ようだ。

未来ある 1 級生の育成

とはいえ、我々整備専門学校には、1 級コースにふさわしい様々な設備や教材が用意されており、学生指導に長けた諸先生が鋭意人材育成に当たっている。学力の向上に加え、学生がもっと車を好きになれば、車好きな学生同士による相乗効果も生む。また、積極的に課外活動や社会貢献活動への取り組みにより人間性が広がり、就職後の会社生活への導入も上手くいく。

加えて、JAMCA には、1 級対策委員会と 1 級拡大会員会があり、国家試験の合格率向上を目指した研究と会員校への支援や 1 級整備士の良さの広報活動を真剣に進めて成果も上がっている。

等々考えていくと、これからの先進技術満載の車の整備においても、お客様や社会から信頼される人材を育成していく立場の JAMCA としては、諸々の課題を克服し、今まで以上に頑張っていけば、1 級整備士志願者に素晴らしい未来を提供できると信じて止まない。

CONTENTS

- 2面 改造電気自動車製作
- 3面 我が校自慢
- 4面・5面 小中学校における
職場体験活動
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍!! 卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記